

[001]樺太演習林に於ける植物生態調査

植村, 恒三郎
九州帝国大学演習林長

田中, 祐一
九州帝国大学演習林助手

<https://doi.org/10.15017/14200>

出版情報 : 九州帝国大学農学部演習林報告. 1, pp.1-117, 1931-06. 九州大学農学部附属演習林
バージョン :
権利関係 :



(I) エゾマツ、トドマツ林
(第四林班) (海拔 150 米)



(II) エゾマツ、トドマツ林 (保恵) (海拔 130 米)



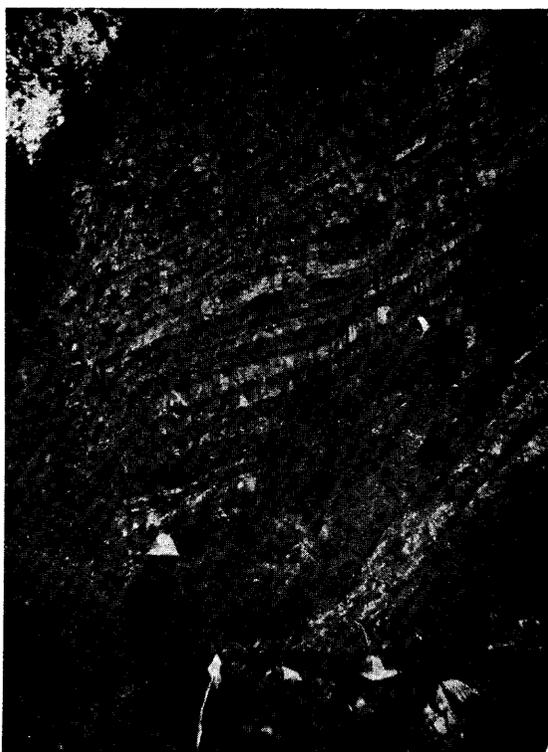
(III) エゾマツ、トドマツ林 (第二十六林班) (海拔 130 米)



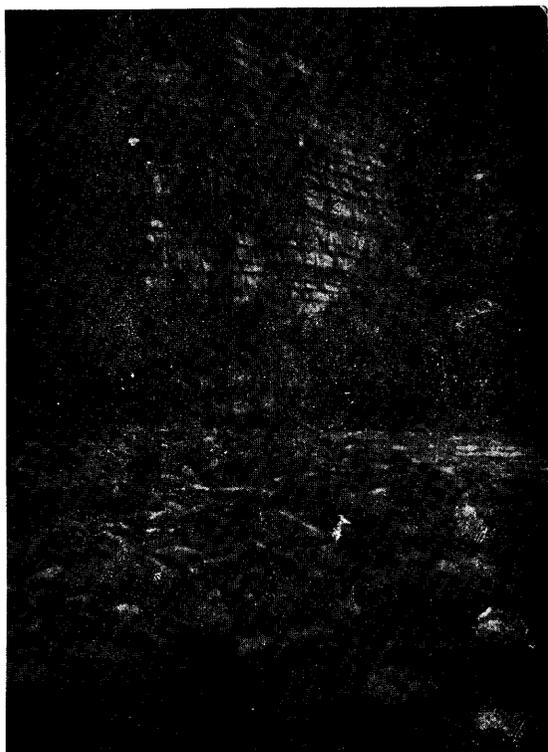
(IV) 奥部集水區域(木菟山「海拔 1148 米」より水源臺地遠望)



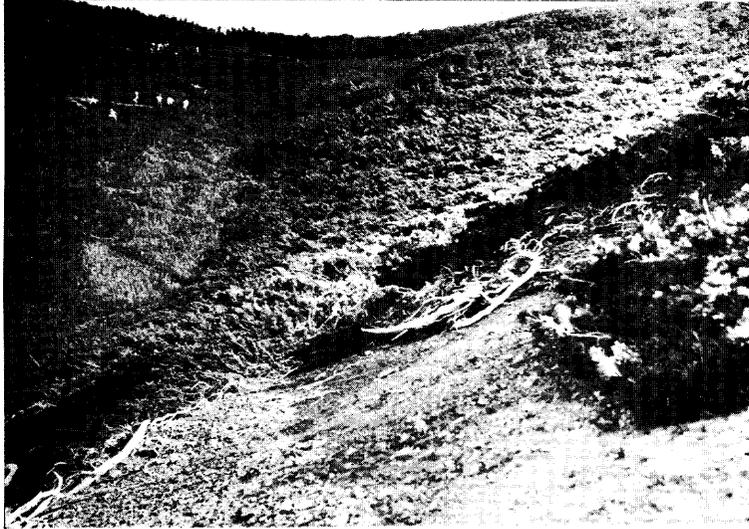
(V) 幌登連山を燒跡地(海拔 150 米)より望む
1. 幌登山(海拔 1150 米) 2. 木菟山(海拔 1148 米)



(VI) 幌登、保恵山間の峡谷 (1) (海拔 300 米)



(VII) 同 上 (2) (海拔 300 米)



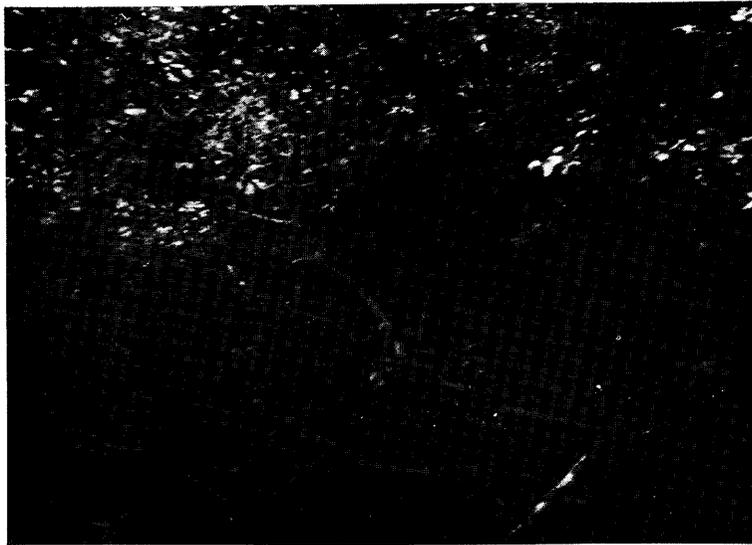
(VIII) ハヒマツ地帯(木菟山腹)(海拔1100米)



(IX) 幌登山頂岩石地に生ぜるエゾマツ(海拔1150米)



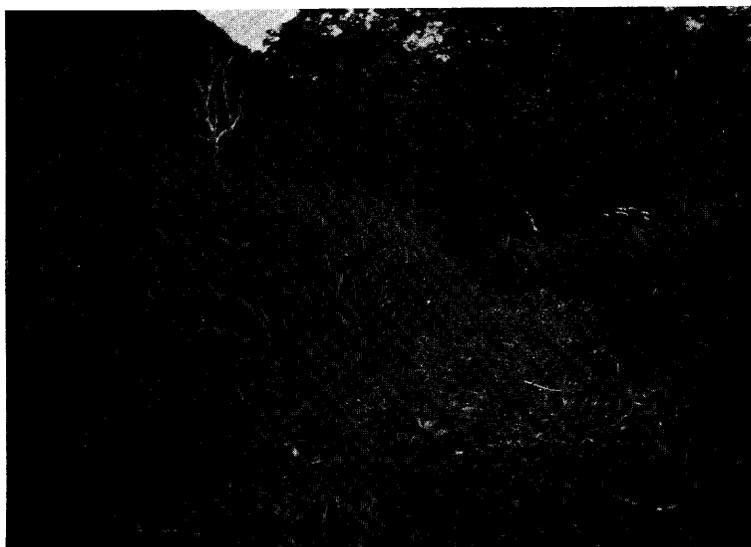
(X) 幌登山岩石地上(乾生寒原)に生ぜる
ホソバノイハギキョウ、ニホシダ、コケ(海拔 1150 米)



(XI) 木菟山頂附近に於ける
雪に壓せられたるハンノキ林(海拔 800 米)



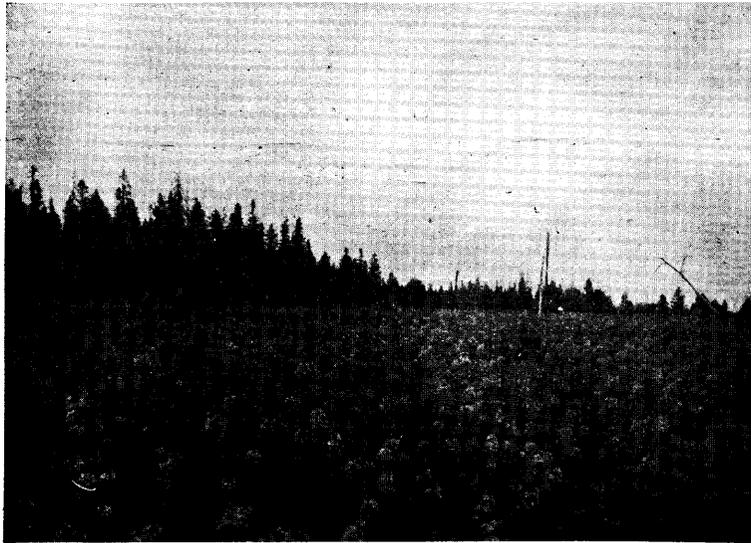
(XII) 木菟山上のチシマキンバイ (海拔 1000 米)



(XIII) 裸出地に生ぜるカラフトドジョウツナギ群落 (海拔 500 米)



(XIV) 平地に於けるエゾニウ、ハナウド大群落(海拔150米)



(XV) 焼跡地に於けるヤナギラン大群落(海拔150米)



(XVI) 裸出地に生ぜるウラジロタデ大群落(海拔 600 米)



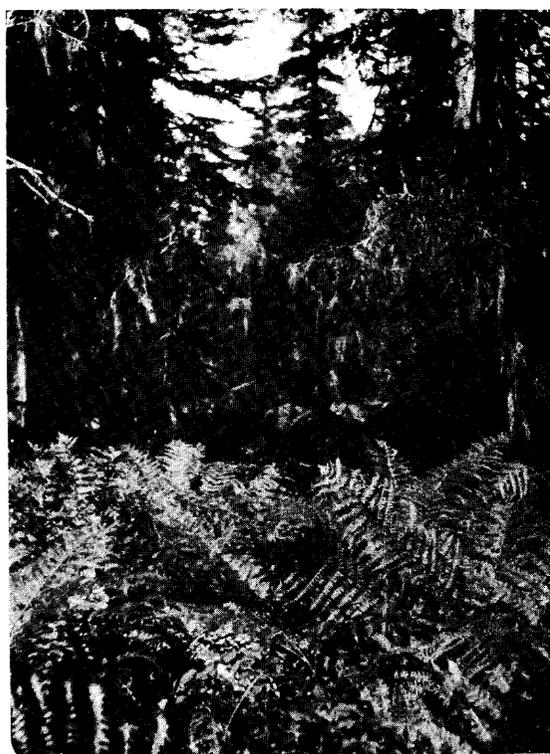
(XVII) ツンドラ地帯に於けるハヒマツ、
ホロナイカンバ、イツツツジ(海拔 80 米)



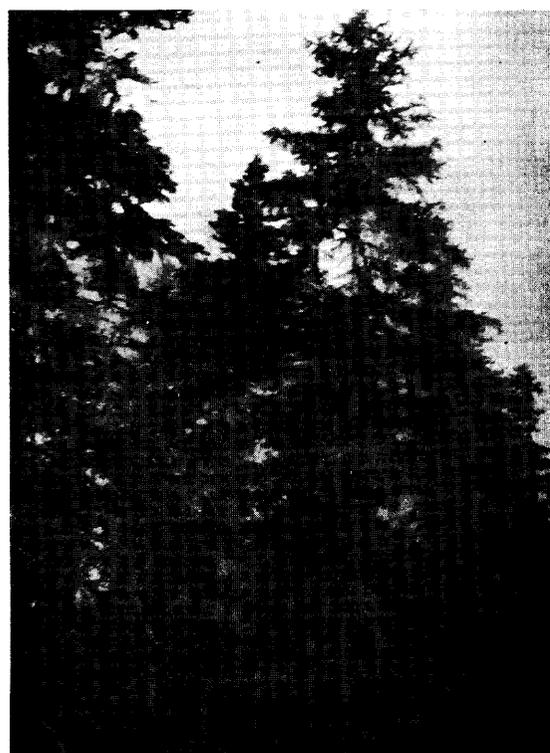
(XVIII) ツンドラ地帯景観 (海拔 80 米)



(XIX) 列状に生ぜるエゾマツ、トドマツ壯令樹(海拔 400 米)



== (XX) ヤマドリゼンマイを生じエゾマツ、トドマツにサルヲガセを懸けたる林相 (1) (海拔150米)



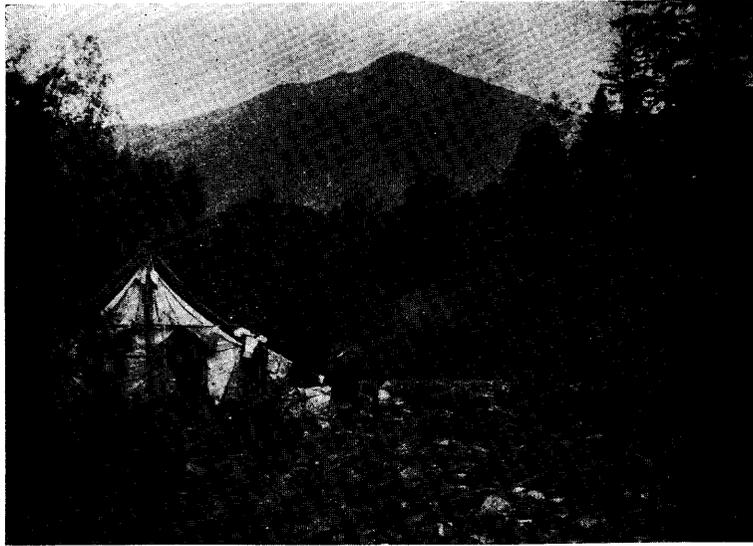
(XXI) 同 上 (2) (海拔150米)



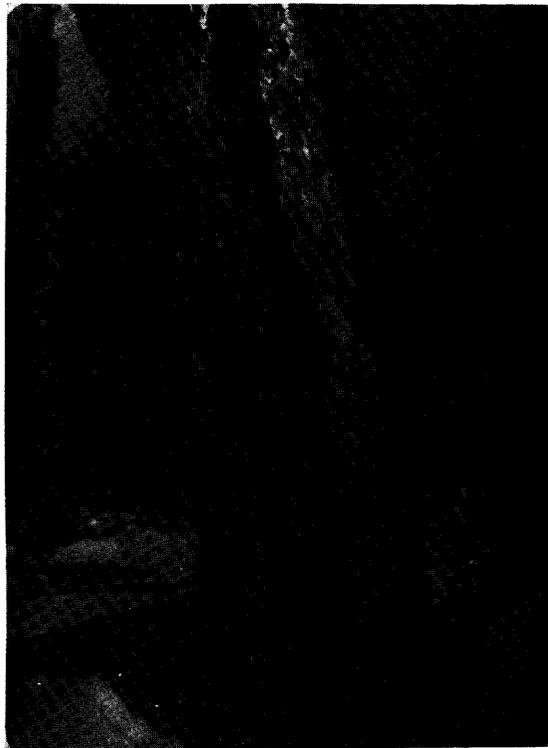
(XXII) バツコヤナギと河畔潤葉樹林(海拔100米)



(XXIII) 河畔潤葉樹林(海拔100米)



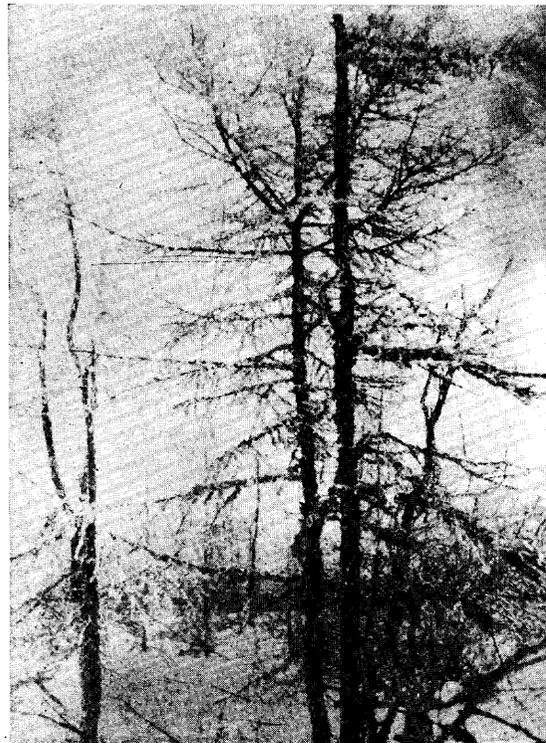
(XXIV) 河沿潤葉樹林(保惠川「海拔 200 米」より幌登山遠望)第五林班



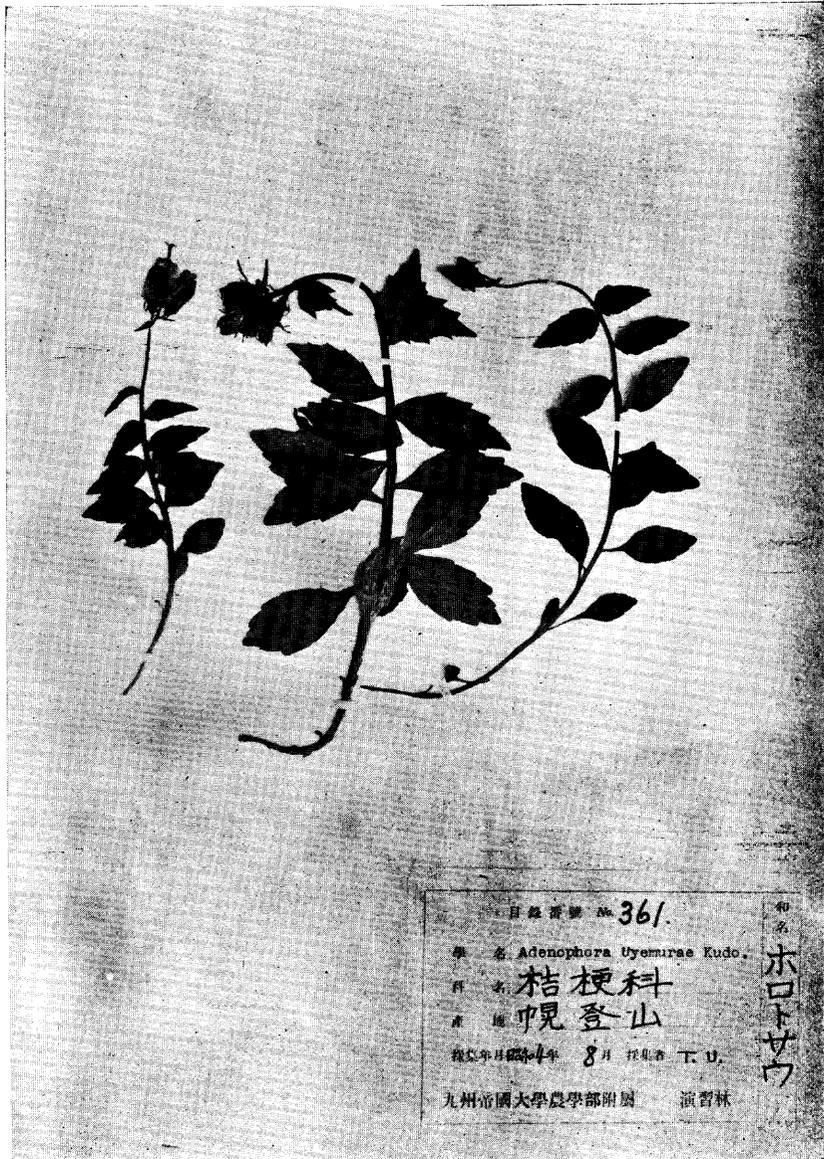
(XXV) 寒氣により割裂せるシラカバ



(XXVI) 寒氣により割裂せるトドマツ



(XXVII) グイマツに生ぜる樹氷



(XXVIII) 新種ホロトサウ (*Adenophora Uyemurae* Kudo).
 植物目録 361 参照